

いつもご苦労様です。官製の工場というのはいつ見ても、我々には異質なものです。今度のPCB工場も、コストは全く関係がなく、要はPCBが分解できればよいという考えです。償却だけでも5,000円/kgはかかるわけですから、我々が工場でやる原価計算は必要ない世界です。大体2t/dayという数字は現実離れしたものです。本当は民間に金を出して真面目に作らせ、もっと効率に良い工場を作るべきでしょう。PCBを作ったところに後始末をやらせるのも一つの方法でしょう。見学でことう工場もあるということの知識を持てたことも、小生にとっては収穫でした。

見学会ではお世話になりました。大変興味深く時間を過ごさせて頂き感謝しています。矢張り申しますか、政治的な要素の多い仕事は、常識が通用しないようで脅威的なものとの印象を非常に強く感じました。特に費用あるいはコストの概念が通用しないため、その感が強いのでしょうか。設備費用400億円というのは通常の4-5倍にはなっているのではないかと素人考えをしています。それは別として、H.17年からH.25年の8-9年で償却すると金利及び終了後の借地の更地化費用を見ないとしても設備の償却費用は年間40億を超えてしまいます。

Running費用の年間約20億円を加算して処理費用を概算すると2t/d(年間600tくらい?)として、¥10,000/Kgを超える処理費用となります。こんなことが許されることが何処であるいは誰がオーソライズしているのでしょうか?どなたか、推定でも宜しいのですが教えていただければありがたいと思っています。宜しく。

先日は交流会の幹事等でご苦労様でした。私は、毎回私用都合等で出席できませんが、今回は予定が取れましたので、参加させて頂きました。参加人数も20名以上のようで盛大だったと思います。幹事のご努力かと思えます。今回の交流会を含めて、SCE・Net(化学工学会)主催ということで、通常では見られないところの見学・ご説明等があると思えます。この意味で、これからも継続してほしいと思えます。これからは、道木さんのほかに複数名でW.Gを作り年間計画表を作成し、それにしたがって進めたほうが良いかと思えます。見学先は、化学工学に関連する国の施設(METI、農水省、文科省、厚生省)・民間企業(機械から医薬・農業等)さらには当工学と関係のない施設(国会議事堂、博物館、美術館等)ではどうでしょうか。以上。

ギリギリに韓国行きが変更になったため参加することにして、御世話になりました。ダイオキシンの毒性について、人間は脂肪が多いので、以前と違う意見も有ります(参考文献: 日下公人・武田邦彦: つくられた環境問題、P48~68、WAC 2009.6.17 発刊)。その毒性が怪しいにも関わらず、あのようコストを掛けて居るのですが、日本だけで有りませんか。この裏に予防原則を振りかざして、ぼろ儲けしている輩が微笑んでいる様にも感じました。